

平成26年3月期 決算短信（非連結）

平成26年5月30日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社
 コード番号 3145
 代 表 者 代表取締役 津野 芳彰
 問い合わせ先 代表取締役 津野 芳彰

上場取引所等 GR
 本社所在都道府県 新潟県
 TEL (025) 250-7335

1. 26年3月期の業績（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益
	千円 %	千円 %	千円 %
26年3月期	48,261 (9.2)	△68,582 (—)	△71,322 (—)
25年3月期	44,184 (15.9)	△66,350 (—)	△68,869 (—)

	当期純利益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
26年3月期	△71,892 (—)	△ 959 96	—	△874.0	△76.8	△147.7
25年3月期	△69,479 (—)	△ 938 33	—	△185.3	△58.0	△155.9

(注) ①期中平均株式数

26年3月期 74,891株

25年3月期 74,046株

②会計処理の方法の変更 有・**無**

③売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率を表示しております。

④潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
26年3月期	63,725	2,198	3.4	28 52
25年3月期	121,993	14,251	11.7	190 31

(注) 期末発行済株式数

26年3月期 77,085株

25年3月期 74,885株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
26年3月期	△27,477	△26,605	13,840	1,253
25年3月期	△49,284	8	79,984	41,496

2. 27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通 期	57,210	△53,359	△53,359

(参考) 1株当たり予想当期純損失(通期) 159円 35銭

3. 配当状況

・現金配当

	1株当たり配当金 (円)						配当金総額 (千円)	配当性向 (%)	純資産 配当率(%)
	第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	その他	年間			
25年3月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
26年3月期	—	—	—	0	—	0	—	—	—
27年3月期 (予想)	—	—	—	0	—	0			

4. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

(コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくように努めております。

(コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況)

当社の取締役会は、平成26年3月31日現在3名で構成し、会社法に定められた取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監督しております。

また、継続ディスクロージャーサポートについては、公認会計士の指導を受けながら、経営情報の迅速な開示を目的として、株主及び投資家に対して決算データ等の情報開示に努めております。

5. 反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、市民生活の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会生活の発展を妨げる反社会的勢力に対しては毅然とした態度で組織的に対応しております。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

総務部を対応部署とし、不当要求などの事案ごとに関係部門と協議し、対応する体制を整備しております。また、反社会的勢力に関する情報を集中し一元管理するとともに、反社会的勢力に該当するかの確認を行っております。

平成 26 年 5 月 30 日

第 11 期 決算速報

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

会社名(定款上の商号)	マイコロジーテクノ株式会社
英文名(英文商号)	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コード番号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電話番号	025-250-7335
連絡者	代表取締役 津野 芳彰

I 当期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日		第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	
	金額	百分比	金額	百分比
I 売 上 高	44,184	100.0	48,261	100.0
II 売 上 原 価	50,951		46,497	
売 上 総 利 益	△6,767	△15.3	1,763	3.6
販売費及び一般管理費	59,582		70,345	
営 業 損 失	66,350	△ 150.2	68,582	△142.1
III 営 業 外 収 益	767		1,144	
IV 営 業 外 費 用	3,286		3,885	
経 常 損 失	68,869	△ 155.9	71,322	△147.7
税引前当期純損失	68,869	△ 155.9	71,322	△147.7
法人税、住民税及び事業税	610		570	
法 人 税 等 調 整 額	-		-	
当 期 純 損 失	69,479	△ 157.2	71,892	△148.9

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 10 期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
期 中 平 均 株 式 数	74,046 株	74,891 株
1 株 当 たり 当 期 純 損 失	938 円 33 銭	959 円 96 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	－円－銭	－円－銭

* 1. 平成 26 年 3 月 31 日を払込期日とする第三者割当による新株式（普通株式）2,200 株の発行を行っております。

* 2. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業部門	第 10 期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日		第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	
	金額	構成比	金額	構成比
マイロジ事業	8,717	19.7%	－	－
健康食品事業	35,467	80.3%	48,261	100.0%
合 計	44,184	100.0%	48,261	100.0%

(3)貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 平成 25 年 3 月 31 日現在		第 11 期 平成 26 年 3 月 31 日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
現金及び預金	41,496		5,668	
売掛金	22,137		21,890	
商品	-		-	
製品	4,314		8,100	
半製品	1,569		4,179	
原材料	17,877		4,024	
仕掛品	30,335		19,664	
前払費用	552		652	
未収入金	373		170	
その他	125		△3,667	
流動資産合計	118,783	97.4	60,684	95.2
固定資産				
有形固定資産				
工具器具備品	158		79	
有形固定資産合計	158	0.1	79	0.1
投資その他の資産				
敷金	2,849		2,849	
長期前払費用	202		112	
投資その他の資産合計	3,051	2.5	2,961	4.7
固定資産合計	3,209	2.6	3,040	4.8
資産合計	121,993	100.0	63,725	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 平成 25 年 3 月 31 日現在		第 11 期 平成 26 年 3 月 31 日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
流動負債				
買掛金	8,062		8,589	
短期借入金	95,000		49,000	
未払金	2,750		2,164	
前受金	10		-	
預り金	576		374	
未払法人税等	1,341		1,398	
流動負債合計	107,741	88.3	61,526	96.5
負債合計	107,741	88.3	61,526	96.5
(純資産の部)				
株主資本				
資本金	380,204	311.7	410,124	643.6
資本剰余金				
資本準備金	328,204		358,124	
資本剰余金合計	328,204	269.0	358,124	562.0
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△694,156		△766,049	
利益剰余金合計	△694,156	△569.0	△766,049	△1,202.1
株主資本合計	14,251		2,198	
純資産合計	14,251	11.7	2,198	3.4
負債・純資産合計	121,993	100.0	63,725	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 10 期 平成 25 年 3 月 31 日現在	第 11 期 平成 25 年 3 月 31 日現在
発 行 済 株 式 数	74,885 株	77,085 株
1 株 当 た り 純 資 産	190 円 31 銭	28 円 52 銭

(4)株主資本等変動計算書

前事業年度（自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金		
			繰越利益 剰余金		
平成 24 年 4 月 1 日残高	368,712	316,712	△624,676	60,747	60,747
事業年度中の変動額					
新株の発行	11,492	11,492	－	22,984	22,984
当期純損失	－	－	△69,479	△69,479	△69,479
事業年度中の変動額合計	11,492	11,492	△69,479	△46,495	△46,495
平成 25 年 3 月 31 日残高	380,204	328,204	△694,156	14,251	14,251

当事業年度（自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他利益 剰余金		
			繰越利益 剰余金		
平成 25 年 4 月 1 日残高	380, 204	328, 204	△694, 156	14, 251	14, 251
事業年度中の変動額					
新株の発行	29, 920	29, 920	－	59, 840	59, 840
当期純損失	－	－	△71, 892	△71, 892	△71, 892
事業年度中の変動額合計	29, 920	29, 920	△71, 892	△12, 052	△12, 052
平成 26 年 3 月 31 日残高	410, 124	358, 124	△766, 049	2, 198	2, 198

(5) 重要な会計方針

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法	総平均法に基づく原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定しております。）
2. 固定資産の減価償却の方法	有形固定資産（リース資産を除く） 定率法 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 工具器具備品 5年 リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項	株式交付費 支出時に全額費用として処理しております。 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(7) 追加情報

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

Ⅱ 第11期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の業績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、減速気味の中国経済や先行き不透明な米国経済など不安定な世界経済の中、政府による経済政策への期待感や金融緩和により円安・株高で緩やかな回復傾向が続いています。

公益社団法人日本通信販売協会で、平成26年5月13日に発表された健康食品の通信販売の売上調査によると、平成26年3月の通信販売による健康食品の売上は20,090百万円で、前年同月の17,274百万円に比して16.3%増加しました。加速している高齢化によって、健康維持やエイジングケア等の健康食品の市場は、今後も拡大を続けると思われます。

サーチュイン遺伝子を発現して傷ついた遺伝子を修復すると言われていたレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」が多くの方々から評価を得て、売上を伸ばしています。全国に販売チャネルのある取引先から依頼を受けて「蘇りレスベラ」を粉体にした新商品も開発中です。

また越後白雪茸製品のOEM「バシックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

栄養補給用のドリンクとして、ローヤルゼリーと越後白雪茸エキスを合わせた栄養ドリンク「アルビタ」を平成26年1月15日に販売開始しました。手軽に飲めることと、従来の製品に比べて廉価であることから引き合いも多く、次年度の好転材料として営業強化しています。

その他に、各種研究会や学会で試飲説明会を行っています。平成25年11月22日に第4回越後白雪茸研究会で開催され、評価を得ました。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を広く行っていることにより、売上向上に努めています。

また、生産の安定化をはかるため、大手茸生産会社へ生産委託しています。さらに新潟県北部の森林組合との共同で生産をはじめて、栽培技術向上と増産を目指しています。

しかし、まだ目標値を超えるまでの売上の伸びはありませんでした。

以上の結果、当期の売上高は48,261千円（前年比9.2%増）、営業損失68,582千円（前期 営業損失66,350千円）、経常損失71,322千円（前期 経常損失68,869千円）、当期純損失71,892千円（前期 当期純損失69,479千円）となりました。

Ⅲ 第11期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目 \ 期 別	第11期（実績） 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	第12期（予想） 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売 上 高	48,261	57,210
営業利益又は損失（△）	△68,582	△51,199
経常利益又は損失（△）	△71,322	△53,539
当期純利益又は純損失（△）	△71,892	△53,539

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
現 金 及 び 預 金 の 増 減 額	30,707	△40,243
現 金 及 び 預 金 の 期 首 残 高	10,788	41,496
現 金 及 び 預 金 の 期 末 残 高	41,496	1,253

(主な増減理由)

当事業年度の主な増減理由は以下のとおりです。

仕入債務の減少 526 千円、短期借入金の増加 32,000 千円、株式の発行による収入 59,840 千円（以上現金及び預金の増加要因）、税引前当期純損失 71,322 千円、売上債権の増加 247 千円、たな卸資産の減少 18,128 千円、その他流動負債の増加 741 千円（以上現金及び預金の減少要因）によります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第 10 期 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	第 11 期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
短 期 借 入 金 の 増 減 額	57,000	46,000
短 期 借 入 金 の 期 首 残 高	38,000	95,000
短 期 借 入 金 の 期 末 残 高	95,000	49,000

(主な増減理由)

当事業年度の増加は、借入 32,000 千円、返済 78,000 千円によるものであります。

(3) 長期借入金の増減(1 年内返済予定長期借入金を含む)

該当事項はありません。

V その他

第三者割当による新株式の発行

平成26年3月3日開催の当社取締役会において決議されました、平成26年3月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式 2,200株 |
| ② 払込金額 | 1 株につき普通株式 金27,200円 |
| ③ 払込期日 | 平成26年3月31日（金） |
| ④ 資本増加日 | 平成26年3月31日（金） |
| ⑤ 調達資金額 | 59,840,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 借入金の返済に充当しました。 |